

ご感想、情報は・Eメール life@sankei.co.jp
 ・FAX 03-3270-2424

■親子向けお花見スポットランキング

- ①むさしの村 (埼玉県)
- ②京都府農業公園 丹後あじわいの郷
- ③東京ドイツ村 (千葉県)
- ④よみうりランド (東京都)
- ⑤マザー牧場 (千葉県)

※いずれもお出掛けサイト「いこーよ」集計

大人のニーズと違う？

親子連れ向け花見スポット

花見シーズンを前に、親子連れ向けのお出掛け情報サイト「いこーよ」が集計した花見スポットの人気度ランキングで、埼玉県加須市のレジャー施設「むさしの村」がトップとなった。昨年3〜5月の花見時期のアクセス数を基に、桜がある程度まとまって植えられているなど一定の条件も加味して集計した。

1位が人気となっている。観覧車に乗って桜を眺めることもできるため、花見だけでは退屈しがちな幼児も飽きずに過ごせるという。同園によると、園内の桜の見頃は4月上旬となる見込み。恒例の桜祭りを4月6日までの予定で開催しており、夕方からライトアップを行う。

2位の「丹後あじわいの郷」(京都府京丹後市)は芝生広場や周回路などの周辺に約150本の桜が植栽され、桜の時期には広場にシートを広げる親子連れが多く見られる。園内を1周する機関車を模した乗り物、チューチュートレインからも桜を眺めることができ、子供たちに人気だ。散策路周辺に自生している桜もあり、幅広い年齢層が訪れる。

3位の「東京ドイツ村」(千葉県袖ヶ浦市)の広報担当者は「桜よりも芝桜がお勧め。昨年から力を入れており、今年はさらに株数を増やす」。気温の低い日が続いたため、芝桜の開花が遅れており、見頃は4月になるという。

サイトを運営するアクトインディでは「遊園地や大型公園などには隠れた桜の名所となっている場所がある。大人の花見スポットとはニーズが異なり、花見と遊びのどちらも楽しめるので子供が飽きない。場所取りをする必要がないのもポイント」と分析している。